

第88期 定時株主総会

NEC ネットズエスアイ

NEC Networks & System Integration Corporation

報告事項

第88期 事業報告 および
連結計算書類等 報告の件

2020年6月24日

NECネットエスアイ株式会社

第88期(2019年度)

事業報告

■ マクロ環境（国内経済）

- 雇用や所得環境の改善が見られるなど緩やかな回復が継続
 - －年度末からの新型コロナウイルス感染症の影響により、
今後は景気的大幅な下振れが避けられない状況

■ ICT(情報通信技術)市場

- 各分野ともに概ね堅調に推移
 - 一般企業向け：テレワークなどの働き方改革に向けたICT投資が堅調
インバウンド需要高まりを受けた設備投資も堅調継続
 - 通信事業者向け：通信品質改善に向けた設備投資が継続
 - 社会・公共向け：消防・防災、映像/CATVなどのシステム投資が堅調

（単位：億円）

過去最高業績を達成

- 受注高、売上高は初めて
3,000億円を突破
- 事業力強化により収益性改善
が進展

	第87期	第88期	前期差/比
受 注 高	2,847	3,050	+7%
売 上 高	2,779	3,036	+9%
売 上 総 利 益 率	17.2%	17.9%	+0.7pt
営 業 利 益 (営業利益率)	128 (4.6%)	162.5 (5.4%)	+35 +0.8pt
特 別 損 失	0	34	△34
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 (当期純利益率)	89 (3.2%)	94 (3.1%)	+5 △0.1pt
R O E	8.7%	8.8%	+0.1pt
フリー・キャッシュ・フロー	28	62	+34

＜参考＞ 過去最高業績

受注高 2,991億円（第83期）
 売上高 2,922億円（第83期）
 営業利益 161.6億円（第83期）
 当期純利益 89億円（第87期）



働き方改革ソリューション

■ 主な事業内容

- 情報通信(ICT)を活用した働き方改革ソリューションの提供
- ホテル・大学等の公共向けICTソリューションの提供

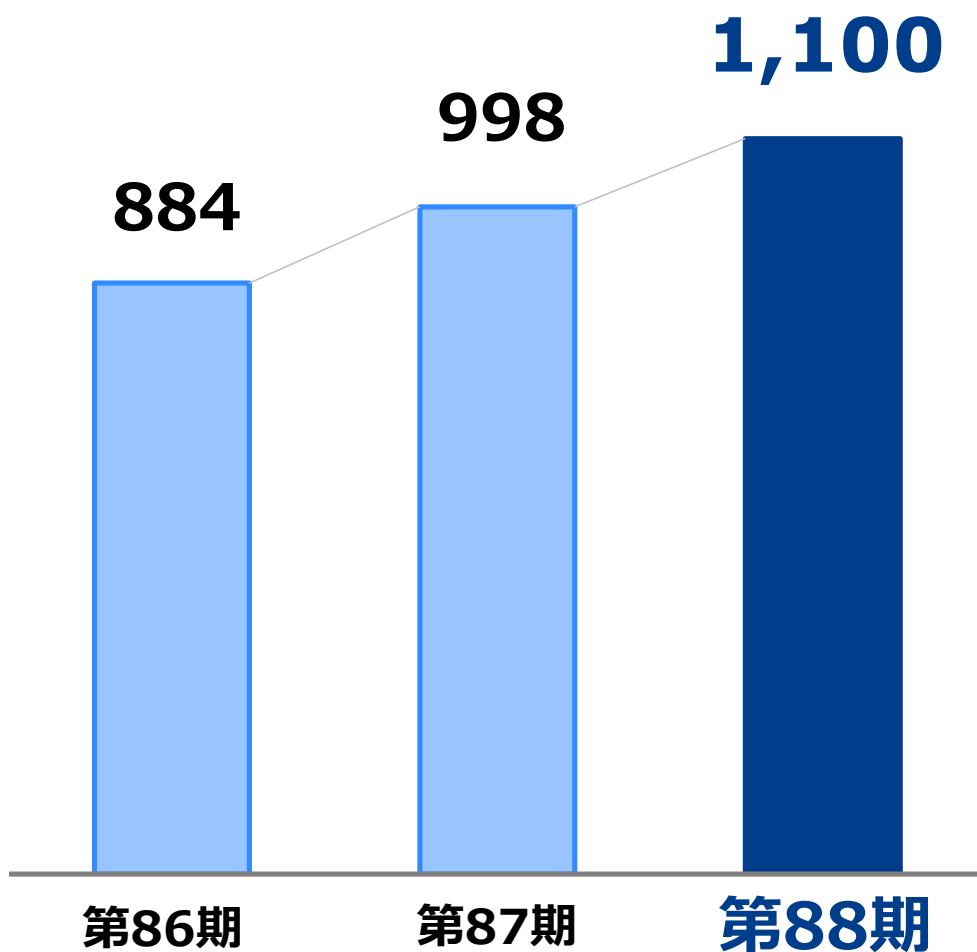


ホテル向けICTソリューション

第88期 デジタルソリューション(DSL)事業

(単位：億円)

売 上 高



■ 前期比 10%増加

- 働き方改革関連分野やホテル向けネットワーク構築が拡大

※2019年4月1日の組織改正に伴い、第88期より新セグメントに変更しております。
第86期および第87期のセグメント実績は、これを反映した組替え値です。



通信事業者向け
基幹ネットワーク



移動体基地局



消防救急システム

■ 主な事業内容

- 通信事業者や社会公共※向けの
ネットワークインフラに関する
SI・サービスの提供

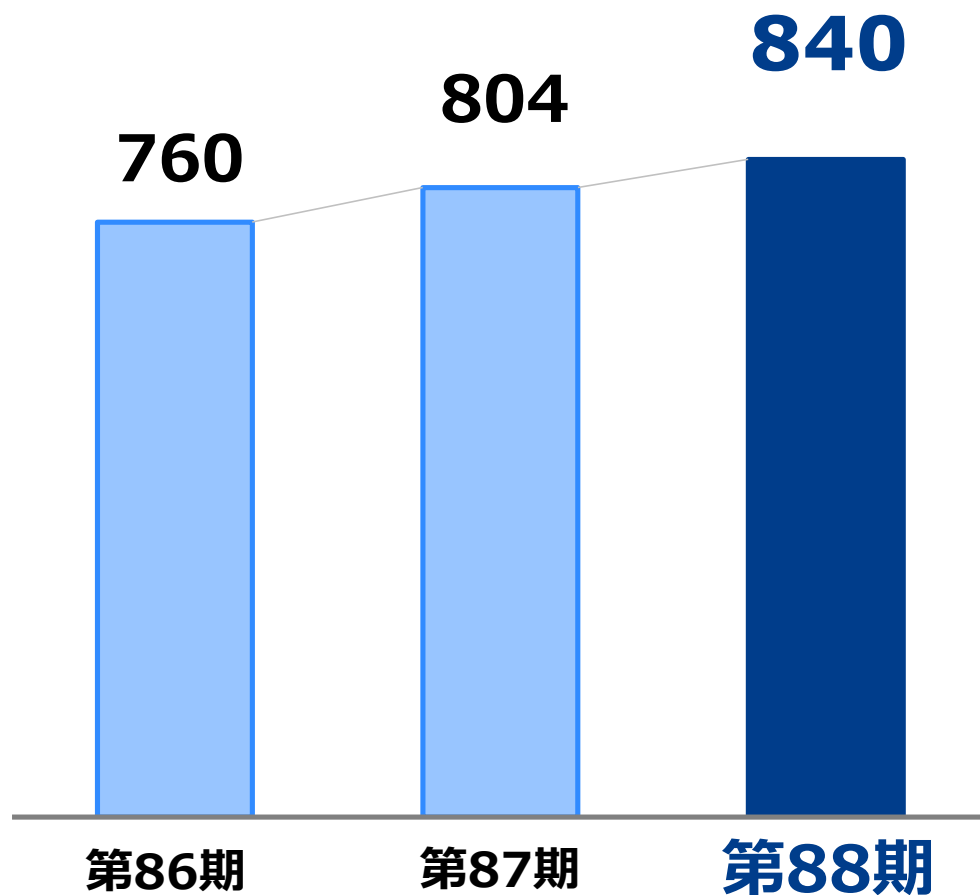
※官庁・自治体、放送事業者、
道路・鉄道事業者等

第88期 ネットワークインフラ(NWI)事業

(単位：億円)

売上高

■ 前期比 4%増加



- 社会公共インフラ分野が拡大
— 通信事業者向けは、
下期から回復し横ばい

※2019年4月1日の組織改正に伴い、第88期より新セグメントに変更しております。
第86期および第87期のセグメント実績は、これを反映した組替え値です。



海外通信網整備
(ミャンマー)



保守コールセンター

■ 主な事業内容

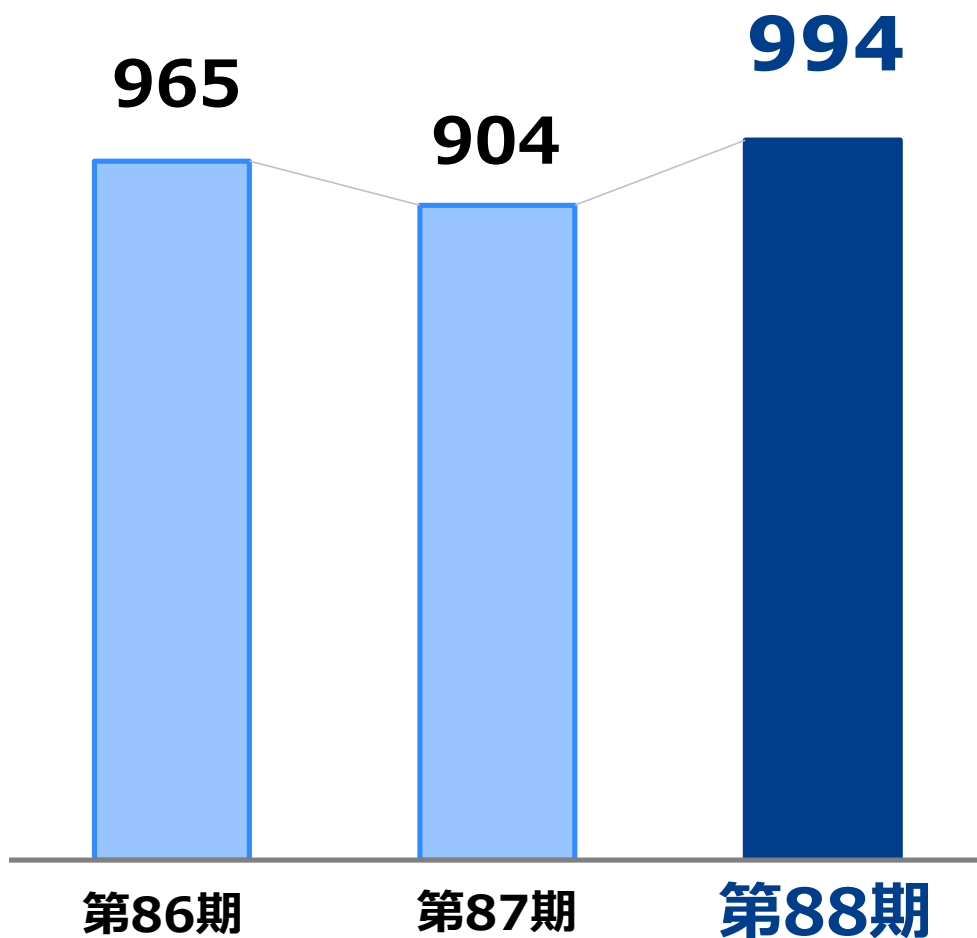
- 国内・海外のICTシステムに関する工事施工
- 保守・運用、監視等のサポートサービス

第88期 エンジニアリング&サポートサービス(ESS)事業

(単位：億円)

売上高

■ 前期比 10%増加



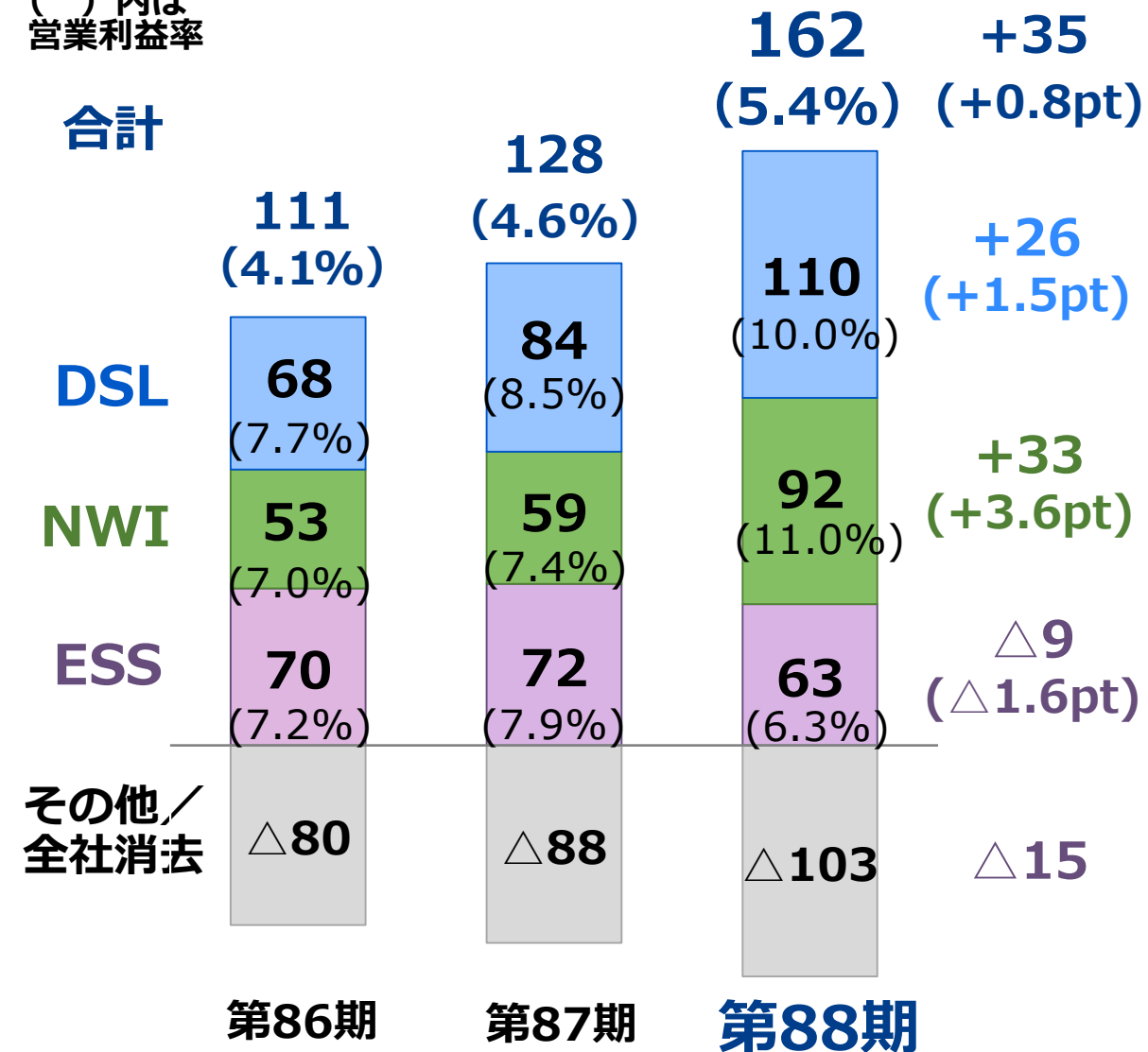
- 国内施工※/海外事業、保守/運用事業すべてが拡大

※メガソーラー、消防/防災システム

※2019年4月1日の組織改正に伴い、第88期より新セグメントに変更しております。
第86期および第87期のセグメント実績は、これを反映した組替え値です。

第88期 セグメント別営業利益

(単位：億円)
() 内は
営業利益率



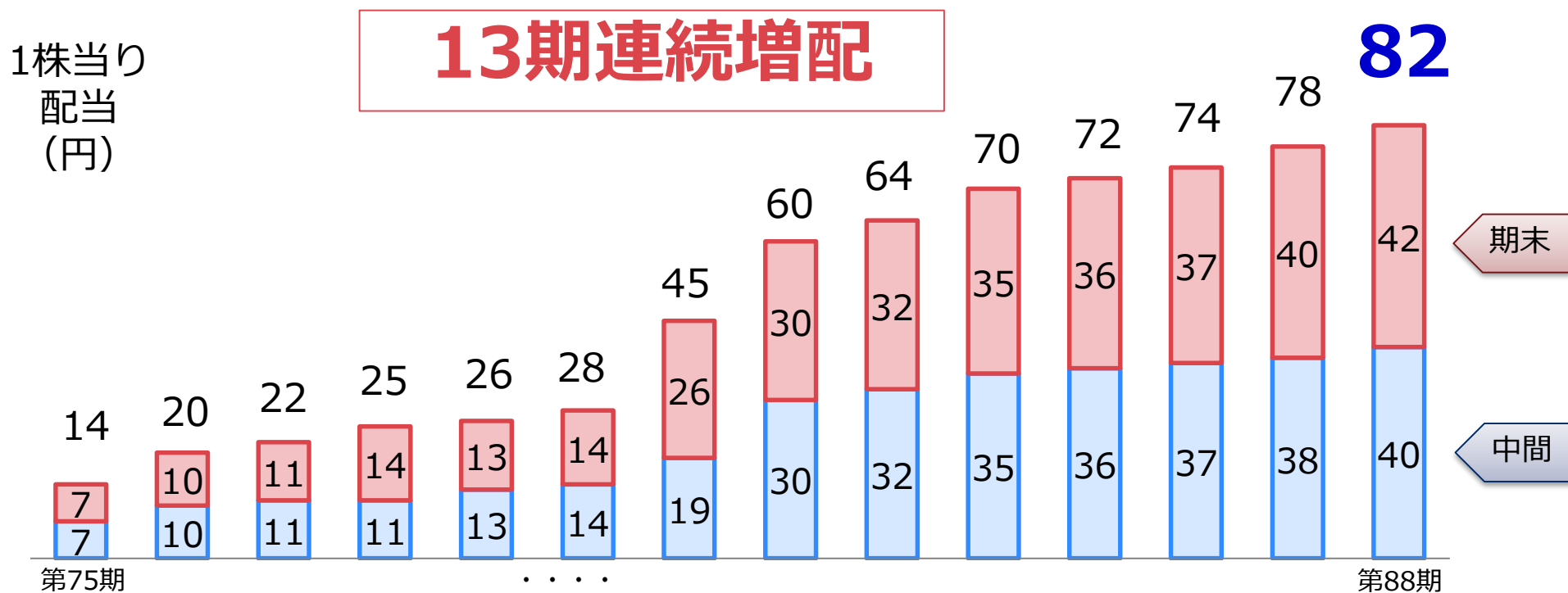
増収効果および事業力強化により収益性が改善

- 不採算および成長費用の増加も実力値は大幅に改善

※2019年4月1日の組織改正に伴い、第88期より新セグメントに変更しております。
第86期および第87期のセグメント実績は、これを反映した組替え値です。

■ 成長投資による企業価値拡大と同時に、 安定配当をベースに株主還元を継続的に拡大

- DOE（自己資本配当率）を考慮
- 第88期：計画から**2円増配**し、期末配当**42円/株**（年間82円）



対処すべき課題

- 中期経営計画の進捗
- 新年度事業遂行方針

2030年のありたい姿と新たな中期経営計画の位置づけ

2030年の ありたい姿

実現したい
社会像

コミュニケーションで実現する
より快適で便利な社会

当社の
将来像

パートナーとの共創で社会価値を創造する
コミュニケーションサービス・オーケストレーター



2030

2021

中期経営計画（2019→2021年度）の位置づけ

2019

5年・10年先の環境変化を見据え、
事業構造と体質を強化し、成長力・収益力強化

「デジタル×5G」時代のトッププレイヤーを目指す

5Gインフラの上でデジタル技術が活用され、2つの技術が融合する
将来の「**デジタル×5G**」時代を見据え、両事業領域へ注力

【事業分野】



デジタルソリューション領域

クラウドSI
〔クラウドとクラウド
を繋げる〕

ビジネス変革
サービス

企業向けICTサービスから
通信インフラまで手掛ける当社の
シナジーを発揮



4G→5G移行
(マイグレーション)



5G本格化

5Gインフラ領域

デジタル×5G

今中期経営計画は 「デジタル×5G」時代に向けた準備期間

デジタル

働き方改革/DX分野で成果

5G

本格化に備えた準備は順調

事業力

組織力、効率化など想定以上に進展

業績

メガソーラー建設PJ不採算が重石も

実力値の改善は前倒しで進捗

DXを活用し、東京一極集中・イノベーションなどの 社会課題解決に向けた取組みを強化

提供価値の進化

働き方改革
ビジネスの進化

- ・分散型ワークの実践
- ・日本橋イノベーション
ベースオープン

オフィス見学者
累計**6万人**突破

計画通り

事業モデルの変革

サービス提供型
モデルへのシフト

サービス売上高

+10%UP

※単独値

計画通り

技術の進化

事業を支える
DX領域の強化

クラウドを繋ぐ
DXプラットフォーム開発

DX関連受注

60億円 ※想定以上

好調



考え方

進捗

分散型ワークの高い事業継続性

デジタル/クラウドの徹底活用で事業継続性と生産性を両立
(緊急事態宣言後も社内業務への影響は軽微)

日本における働き方のスタンダードを創る

【分散ワークを支える仕組み】

デジタル化

業務スピード/生産性アップ
ペーパーレスで対面不要

紙の電子化



電子署名



マネジメント
の見える化



従業員所在地の
見える化



クラウドを束ねる

データ連携で
業務プロセスを自動化

クラウドを繋ぎ束ねる
DXプラットフォーム



オープンでフラットな コミュニケーション

組織を越える/
社長とも直接つながる

Face to Face
コミュニケーション



ビジネスチャット



テレワーク需要への対応

足元の需要動向

テレワークの
引き合いが急増



(3月時点：2月対比)

Web問合せ **5倍**

受注額※ **6倍**

新規顧客も**増加**

※Zoom関連受注額

今後の取り組み

- テレワーク支援として
当社ノウハウの提供
 - ▶ Zoomによる新規顧客の更なる獲得
- Zoom導入企業への深耕
 - ▶ 周辺商材、セキュリティ、
ネットワーク増強etc
- 官公庁、文教への拡販
 - ▶ 一般企業のICT投資後退への備え



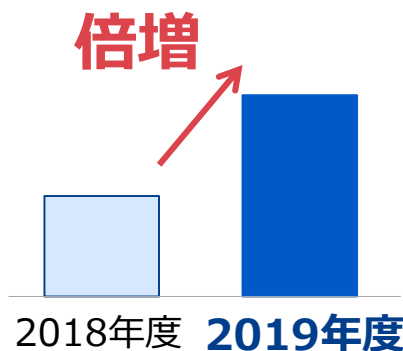
5G投資の本格化に向けた準備は順調

通信事業者インフラ深耕

基地局事業のシェア拡大

KNSI社※売上高

※K&Nシステムインテグレーションズ



2019年度下期
から回復基調

シェアも
順調に拡大

計画変更

ローカル5G

フルレイヤーSI力を
活かせる分野として注力

実証実験/提案活動を強化

地域BWA

(地域広帯域移動無線アクセス)BWA : Broadband Wireless Access

CATV事業者

防災・減災ICT関連 など

計画通り

考え方

進捗

■ 5Gラボ：5G人材育成、技術検証拠点を新設 (2020年夏予定)



教育

オープン
イノベーション

ソリューション
開発

ショーケース

●実機を用いた技術研修

- ・ 基地局、コアネットワーク(仮想NW)
- ・ 2023年までに5G関連技術者を4倍へ

●5G検証/BPOサービス提供

- ・ コンサル/免許申請から構築、運用サービス
- ・ キャリア、ベンダー向け検証・BPOサービス

●ソリューション創出

All NESICによる事業力強化は想定以上に進展

リソース効率化

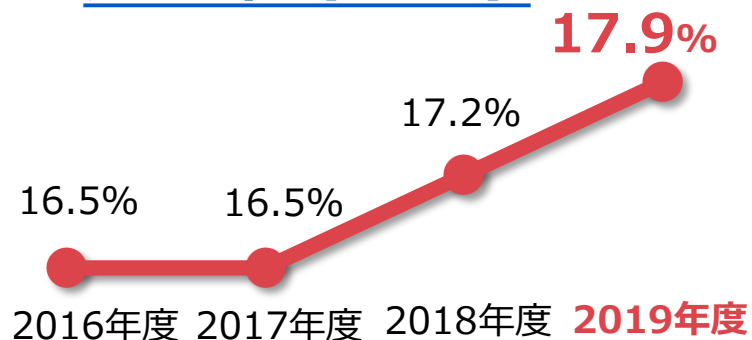
組織再編効果の最大化

働き方改革

DX活用による生産性向上

リソース効率、PJ品質が向上
固定費効率が改善

売上総利益率



一人当たり売上高

(前期比)

+8%UP

売上高 +9%
連結人員+1%

好調

考え方

進捗

売上高 3,000億円を超えるレベルへシフトする

▶ デジタルソリューション領域が牽引し、想定を上回る進捗

売上高

2,779億円

2018年度(実績)



3,036億円

2019年度(実績)



3,100億円

2021年度(目標)

収益性

業界水準を目指す(2022年3月期は通過点)

▶ メガソーラー建設PJ不採算が重石も、実力値の改善が前倒しで進捗

営業利益

128億円
(4.6%)

2018年度(実績)



162億円
(5.4%)

2019年度(実績)



200億円
(6.5%)

2021年度(目標)

不採算除く

ROE

8.7%

2018年度(実績)



8.8%

2019年度(実績)



10%以上

2021年度(目標)

不採算除く

■現時点では2020年度通期業績予想は「未定」

- 新型コロナウイルスにより、景気の大きな悪化が想定
- サプライチェーン混乱や現場立入り制限により、プロジェクトが遅延

全 般

企業/公共

- 景気悪化により顧客企業のICT投資が削減
- テレワーク/働き方改革のニーズが加速- 教育分野も遠隔授業ニーズ

通信事業者

- 5Gに向けたマイグレーションが徐々に進行
- テレワークにより通信トラフィックは増大

官庁自治体

- 入札等が遅延の懸念
- 防災・減災への投資は引き続き堅調

遂行方針

- 社会課題に対応したソリューションの提供強化
- コストコントロール強化による収益確保

その他の事業報告および計算書類の
内容につきましては、お手許の
「第88期 定時株主総会 招集ご通知」に
記載のとおりでございますので、
説明は省略させていただきます。



明日のコミュニケーションをデザインする

NECネットエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

nesic

検索